

月平均 80 時間を超  
える教職員 0 人  
を目指して

# 働き方改革 通信

## For everyone's Smile

第 28 号  
令和 5 年 12 月  
山形県教育局

### ～【令和 5 年度上期】時間外在校等時間調査結果～

#### 時間外在校等時間が 80 時間を超えた人数

※ ( ) 内は各校種の全体数に占める人数割合

	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	計
R 5 上期 (前年同期比)	4 人 (0.1%) <- 4 人	65 人 (3.1%) <- 33 人	0 人 (0.0%)	142 人 (7.7%) <- 14 人	211 人 (2.5%) <- 51 人
R 4 上期	8 人 (0.9%)	98 人 (4.6%)	0 人 (0.0%)	156 人 (8.3%)	262 人 (3.1%)

- 時間外在校等時間が 80 時間を超えた人数は減少傾向にあります。  
(参考) R 3 上期 (332人) → R 4 上期 (262人) → R 5 上期 (211人)
- 中学校では前年の 66% (34% の減少) となり、大幅に減少しました。
- 高等学校では、校種人数 (計) に対して、7.7% にあたる 142 人が 80 時間超となっています。

#### 月平均時間外在校等時間

	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
R 5 上期 (前年同期比)	36 時間 10 分 <- 50 分	44 時間 39 分 <- 3 時間 17 分	22 時間 54 分 <- 48 分	42 時間 33 分 <- 1 時間 53 分
R 4 上期	37 時間 00 分	47 時間 56 分	23 時間 42 分	44 時間 26 分

- 前年同期の比較において、全校種とも月平均時間外在校等時間は減少傾向にあり、かつ、働き方改革プランの取組み後、最も大きな減少時間となりました。
- 「中学校」の月平均在校等時間は、全校種中で最も削減され、かつ令和 2 年上期以降で初めて 45 時間以下となりました。

#### 勤務時間外の主な業務内容 (上期 6 か月における一人当たりの平均従事日数)

業務内容	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
授業準備・教材研究	① 16.6 日	② 12.8 日	① 46.9 日	③ 14.5 日
校務分掌	② 13.2 日	① 14.9 日	② 36.5 日	① 22.9 日
部活動	0.0 日	③ 11.6 日	0.1 日	② 17.8 日
学習指導・講習等	0.2 日	1.0 日	0.7 日	1.2 日
児童生徒指導	0.4 日	1.4 日	1.3 日	1.4 日
保護者・地域対応	0.7 日	2.1 日	0.2 日	1.0 日
会議・研修等	0.7 日	1.4 日	0.2 日	0.8 日
その他	③ 2.7 日	5.9 日	③ 11.5 日	7.1 日

- 勤務時間の主な業務内容は、依然として「授業準備・教材研究」、「校務分掌」、「部活動」が多いものの、従事日数は年度比較で減少傾向にあります。

(裏面に続きます)

## ～【令和5年度上期】働き方改革の振り返り結果～

第Ⅱ期働き方改革プランでは、各校における働き方改革の取組みについて、チェックシートを活用して半期ごとに振り返りを行っていただいています。

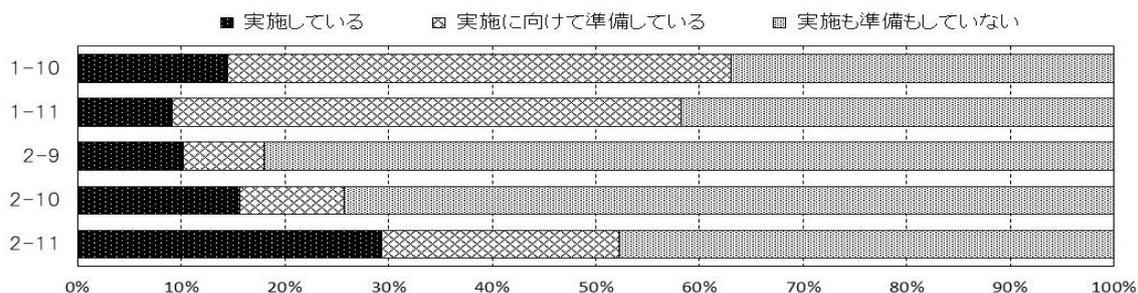
令和5年度上期における主な取組み状況は以下のとおりです。

### 実施率の高かった取組み

- ・項目2-5 配慮が必要な児童生徒に関する情報を日常的に共有【実施率97%】
- ・項目2-6 児童生徒の個別対応時に担任だけに任せることなく、チームで役割を決めて対応【同99%】
- ・項目2-7 児童生徒の個別対応時のSSWやSC等の外部人材との連携を取った対応【同96%】
- ・項目2-19 部活動ガイドラインに従った休養日の設定【同99%】
- ・項目2-20 部活動ガイドラインに従った1回あたりの活動時間の遵守【同95%】
- ・項目2-21 部活動ガイドラインに従った中学校における始業前練習の中止【同100%】

### 実施率の低かった取組み

- ・項目1-10 学校の働き方改革の取組み状況等の学校だよりやホームページ等での公表
- ・項目1-11 学校の働き方改革の取組みの効果を可視化し、学校だより等で保護者や地域へ周知
- ・項目2-9 給食や清掃指導等における外部人材や地域ボランティアの活用
- ・項目2-10 給食や清掃指導等における輪番制の導入等
- ・項目2-11 市町村教育委員会と協力した学校徴収金の公会計化の推進



## ～ 働き方改革の今後の取組みについて～

### 県教育委員会としての取組み

- 校務分掌に係る負担軽減のため、発出文書の見直しやICTを活用した調査報告への転換、教頭マネジメント支援員やスクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーなどの外部人材の積極的な活用を進めていきます。
- 部活動について、「山形県における部活動改革のガイドライン」に沿った校内における取組みを推進するとともに、地域移行に向けた取組みを進めていきます。

### 学校における取組み

- 校長先生のリーダーシップの下、着実に働き方改革は進んでいます。
- 上期の振り返りにおいて、取組み実施率の低かった「学校における働き方改革の取組みの進捗状況等の公表や発信」を努力願います。
- 「①若手層の授業準備」と「②ベテラン層の校務分掌」について、次の取組みをさらに推進願います。
  - ① 教材の共有体制の充実、指導教員や支援員などによるOJTの促進！
  - ② 学校行事の精選や業務負担の平準化などの積極的な実践！